



文化博物館だより

第538号

2019年6月12日

今回の博物館だよりは、明石市制施行 100 周年記念 企画展 郷土作家シリーズ「明石市 100 年の日本画家―静かな時間と生氣あふれる一瞬―」の関連イベントについて、トライやる・ウィークの受け入れについてお届けします。

「ロビーコンサート―津軽三味線で奏でる むかしの音いまの音―」を開催しました！（2019年6月8日）



お二人の息がぴったり合っていました

津軽三味線奏者の高橋静萌（せいほう）さん、高橋静針（せいしん）さんをお迎えしてロビーコンサートを開催しました。

1 階のロビーはお客様でいっぱいになり、2 階からコンサートのような様子をご覧になる方もたくさんいらっしゃいました。

「津軽じょんがら新節」や「黒田節」など三味線の演奏でおなじみの曲から「上を向いて歩こう」や「世界に一つだけの花」などの歌謡曲や J-POP まで色とりどりの曲を演奏してくださいました。熱のこもった演奏に自然と拍手がおこり、お客様も感動されていました。ありがとうございました。



ロビーの端までお客様でいっぱいでした

「ギャラリートーク」を開催しました！（2019年6月9日）

「明石市 100 年の日本画家」のギャラリートークでは、今回展示している 8 人の作家の生い立ちやエピソードを交えてお話ししました。熱心にメモをとるお客様や、質問をされるお客様もいらっしゃり、日本画に対する関心の高さがうかがえました。

学芸員によるギャラリートークの様子



「トライやる・ウィーク」で明石市内の中学生を受け入れました。（2019年6月4～7日）



受付体験の様子



牛乳パックカメラで撮影中



撮った写真を自分たちで展示しました

明石市立文化博物館では毎年「トライやる・ウィーク」の中学生を受け入れていますが、今年も明石市内の中学校から 6 人を受け入れ、文化博物館の仕事を体験してもらいました。受付の体験や、夏季特別展の準備を行ったり、ワークショップの体験として、牛乳パックカメラを作って撮影したり、モノクロ写真を撮って自分たちで展示をすることで体験するなど、盛りだくさんの内容でした。この 4 日間で生徒のみなさんが積極的に発言・行動するようになり、私たちスタッフもとても頼もしく感じました。

明石市制施行 100 周年記念

企画展 郷土作家シリーズ「明石市 100 年の日本画家」

会期：2019 年 5 月 25 日（土）～6 月 23 日（日） 月曜休館

開館時間：9 時 30 分～18 時 30 分（入館は 18 時まで）

観覧料：大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館 HP をご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい  たのしい 
来て、見て、発見！

ぶんぱく 